ENOSHIMA MAP

1500年の歴史を探訪 江の島ガイドMAP

美しい景観と豊かな歴史、美味しい海の幸にマリンスポーツ。多彩な魅力を持つ江の島は、何度足を運んでも新たな発見があります。東京五輪で注目されたこの機会に、自分らしい江の島の楽しみ方を探してみませんか。

楽しみ方いろいろ 江の島ルートマップ

※所要時間・体力はあくまで目安です。

江の島の歴史満喫　島一周コース

江の島の自然と歴史を感じるコースです。江の島はアップダウンがきついので、履き慣れた靴でお越しください。登りは江の島エスカーを使い、帰りは遊覧船べんてん丸に乗船すると比較的楽です。※事前に遊覧船べんてん丸の就航状況をお確かめください。

青銅鳥居→辺津宮→中津宮→江の島サムエル・コッキング苑→江の島シーキャンドル→江の島大師→龍恋の鐘→奥津宮→龍宮→江の島岩屋→稚児ヶ淵→べんてん丸で帰途
所要時間：5時間ぐらい
体力：★★★★★

のんびり気軽に島のてっぺんまで 江の島シーキャンドルコース

島の頂上にある江の島シーキャンドルを目指し、美しい眺望を楽しみます。江の島エスカーを利用すると比較的登りが楽になります。

青銅鳥居→辺津宮→奉安殿→八坂神社→中津宮→江の島サムエル・コッキング苑→江の島シーキャンドル→帰途
所要時間：3時間ぐらい
体力：★★★

海風に吹かれてそぞろ歩き 江の島ヨットハウスコース

江の島東側の比較的新しい施設をめぐります。観光客が少なく、ほぼ平地のため歩きやすいルートです。海風を受けながら、オリンピックの余韻を感じてください。

エドワード・S・モース記念碑→オリンピック記念噴水池→江の島ヨットハーバー→東京オリンピック聖火台（1964年）→さざえ島→江の島ヨットハウス→湘南港灯台→聖天島公園→モース臨海実験所推定跡地→帰途
所要時間：2時間ぐらい
体力：★★

「江の島」？「江ノ島」？ そもそもどっちが正しいの？

みなさんは、どうして江の島は「江の島」「江ノ島」と表記がバラバラなの？と思ったことはありませんか？編集部でも記事を書く際、その都度確認しながら「江の島」、「江ノ島」と書き分けています。一体全体どうしてこんなことになったのでしょうか？

その答えは、1962年「住所表示に関する法律」の施行に伴い、1966年に住所表記が変更されたことが大きいようです。これにより、住所表記は「江の島」に統一、1969年には住所以外の表記も「江の島」で統一する運動が行なわれたそうです。

以降、「江の島」表記となったわけですが、1966年以前に設立した会社や施設などは「江ノ島」のままとなっています。如実なのが駅名で、1902年に藤沢ー片瀬（現江ノ島）間開業の江ノ島電鉄は「江ノ島駅」、1929年江ノ島線開業の小田急電鉄は「片瀬江ノ島駅」、統一後の1971年に全線開業した湘南モノレールは「湘南江の島駅」と表記が分かれています。

また、文化史跡などは文化庁登録に基づき「江ノ島」が多く、江島神社は「江嶋縁起」に基づき「江島」と漢字表記となっています。

お問合せ
江ノ島電鉄株式会社 ☎0466-24-2711 ［江ノ電］検索
小田急電鉄株式会社 ☎044-299-8200 ［小田急］検索
湘南モノレール株式会社 ☎0467-45-3181 ［湘南モノレール］検索

壮大なロマンを感じて 江の島歴史年表

- 約2万年前　片瀬から離れて独立した島となる
- 552年　江の島誕生にまつわる「龍神伝説」が生まれる
- 814年　空海（弘法大師）が岩屋を訪れ修業、弁才天を拝し社殿「岩屋本宮」創建
- 853年　慈覚大師が弁才天を拝し、社殿「上ノ宮」創建
- 1047年　天台宗の僧・皇慶が「江嶋縁起」を記述
- 1182年　源頼朝が奥州藤原氏攻撃を前に江の島で戦勝祈願し、弁才天を勧請
- 1190年　北条時政が岩屋へ参籠
- 1204年　慈悲上人が源実朝に進言し、「下ノ宮」創建
- 1282年　時宗の開祖・一遍上人が片瀬で踊り念仏を行う。この時江の島に渡ったとも
- 1504年　北条早雲、江の島に「制札」を出す
- 1600年　徳川家康、江の島に参詣
- 1649年　岩本坊、江の島の三宮の総別当「岩本院」となる
- 1688〜1704年（元禄時代）　弁財天信仰が庶民の間で盛んに。参詣地・江の島が全国的に知られるように
- 1692年　江の島で修業し管鍼術を考案した杉山和一が関東総検校となる
- 1747年　「青銅の鳥居」の建立
- 1777年　市村座が江島神社に石灯籠を奉納
- 1782年　中村座が江島神社に石灯籠を奉納
- 1803年　酒井抱一が奥津宮に「八方睨みの亀」奉納
- 1821年　「青銅の鳥居」が現在のものに再建される
- 1862年　河竹黙阿弥作の歌舞伎「青砥稿花紅彩画」（弁天娘女男白浪）江戸中村座で初演
- 1868年　明治維新に伴う神仏分離令で神社から仏教色一掃。江島神社別当の岩本院らは還俗。廃仏毀釈により三重塔、楼門などが破壊される
- 1873年　明治天皇が江の島へ行幸
- 1874年　岩本院は「岩本楼」として旅館業を営む
- 1877年　エドワード・モース博士が江の島に臨海実験所を開設
- 1882年　サムエル・コッキングが江の島に土地を購入、後に植物園を建設
- 1897年　江の島、片瀬（洲鼻）間に桟橋が完成する
- 1910年　江之島電気鉄道（現江ノ島電鉄）全線開通
- 1923年　関東大震災。江の島が約1メートル隆起する
- 1929年　小田急江ノ島線開通
- 1934年　江の島が国の名勝及び史跡に指定
- 1947年　片瀬町が藤沢市に編入され、江の島は藤沢市となる
- 1948年　サムエル・コッキング植物園跡地を藤沢市が入手
- 1949年　江の島植物園開園、江の島弁天橋完成
- 1958年　現在の江の島弁天橋が完成
- 1959年　日本初の屋外エスカレーター「江の島エスカー」開通
- 1960年　五輪開催に伴うヨットハーバー建設のため、国の「名勝及び史跡」指定が解除される。県が江の島を「史跡・名勝」に指定
- 1962年　自動車専用道路「江の島大橋」完成
- 1964年　東京五輪。江の島でヨットレースが開催される。湘南港開港。
- 1971年　湘南モノレール（大船〜湘南江の島間）開通
- 2001年　江島神社御鎮座1450年大祭
- 2003年　植物園をリニューアルし、「江の島サムエル・コッキング苑」オープン
- 2004年　新江ノ島水族館オープン
- 2020年　杉山検校の銅像が江島神社に建立される
- 2021年　2度目の東京五輪。江の島がセーリング会場となる

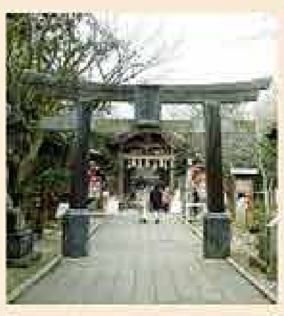
注）江島神社の名称について：当初金亀山与願寺として始まり、1868年に江島大　明神、1873年より江島神社。　※誌面都合で割愛あり

ENOSHIMA TOPICS

「ふじさわびと」ならこれだけは知っておきたい 江の島TOPIX①

誰もが当たり前のように知っているけれど、改めて聞かれてみると意外に知らない「江の島」。身近だけれど、実はとても奥深い島なのです。「ふじさわびと」なら知っておきたい「江の島」のこと、まとめてみました。

伝源頼朝奉納鳥居　頼朝が戦勝祈願に 鎌倉の重厚さ残す　6



江の島には古くは空海（弘法大師）や日蓮聖人ら高僧が修行したり、源頼朝や北条時政らの武将が戦勝祈願などに訪れたりしました。その名残をとどめているのが、江島神社の奥津宮の入り口にある石鳥居。「吾妻鏡」によると、頼朝が養和2年（1182年）、藤原秀衡調伏のために江の島の岩屋に弁才天を勧請し、その時に鳥居も寄進したといいます。ちなみに、現在の鳥居は2004年の台風で破損した後、一部を補修したものです。

住所：藤沢市江の島2-6-15（奥津宮）
☎0466-22-4020（江島神社）
［源頼朝奉納鳥居］検索

青銅の鳥居　「江島詣」の賑わい 感じさせる鳥居　1

江の島の入り口にある青銅の鳥居は、江戸時代半ばの延享4年（1747年）に創建されました。江戸時代には庶民の「江島詣」が盛んで、東海道から分かれて江の島に向かう「江の島道」には三つの鳥居があり、青銅の鳥居は「三の鳥居」。「一の鳥居」は遊行寺前、「二の鳥居」は洲鼻通りにありましたが、現存するのはこの「三の鳥居」だけ。現在の鳥居は文政4年（1821年）に再建され、今年200年。柱には、再建に寄進した人々の名前が刻まれています。

住所：藤沢市江の島1-4-1317
☎0466-22-4020（江島神社）
［青銅の鳥居］検索

八臂弁財天と裸弁財天　勝負と芸事の神様 趣異なる弁財天像　3

辺津宮境内の「奉安殿」には二つの弁財天像があります。勝負の神様として知られる八臂弁財天（国重要文化財）と「裸弁財天」と呼ばれる妙音弁財天（藤沢市指定文化財）です。

相原宮司は「八臂弁財天の特徴は、弁財天の頭の上に、顔が老人で身体は蛇という神様（宇賀神）が乗っていること。鎌倉時代に活躍した仏師・運慶派の特徴がみられます。妙音弁財天は音楽の神様。弁財天はヒンズー教で川の神様（河川神）ですが、水が清く流れる音から音楽の神様になりました」と話してくれました。

八臂弁財天

妙音弁財天

江島神社　3 4 7

江の島の歴史に欠かせない存在

江の島を知るために欠かすことができないのが「日本三大弁財天」の一つとして知られる江島神社の存在です。古くから聖地として知られ、数多くの名僧や名だたる武将が修行や参拝に訪れました。現在、江島神社は辺津宮、中津宮、奥津宮の三社からなり、三姉妹の女神がまつられています。また、境内には八坂神社をはじめ、多数の摂社・末社があります。宮司さんは代々、島の人々から神様のように慕われてきました。観光のシンボルであると同時に、島の人々にとって、なくてはならない神社なのです。

相原圀彦宮司

辺津宮

住所：藤沢市江の島2-3-8
☎0466-22-4020
［江島神社］検索

江の島岩屋　江島神社発祥の地 龍と天女の伝説も　8

江の島の最奥部にある、長い間の波の浸食でできた二つの岩屋。富士山の氷穴とつながっているとの伝承を持つこの場所は、江の島の誕生の由来とされる「龍神伝説」の地とされます。かつて江の島の対岸の鎌倉では、五つの頭を持つ龍（五頭龍）が人々を苦しめていましたが、6紀前半に突然、海の中から江の島が現れ、島に天女が舞い降りました。五頭龍は天女に一目ぼれ。天女は五頭龍の改心と引き換えに、五頭龍の求婚を受け入れました。この伝説を描いた「江嶋縁起」の絵巻は、今も江島神社に大切に保管されています。

住所：藤沢市江の島
☎0466-22-4141（藤沢観光センター）
［江の島岩屋］検索

杉山和一総検校像・福石　江戸時代の鍼医 業績今に伝える　2

江戸時代に日本独自の鍼技術「管鍼法」を考案し、時の将軍・綱吉も治療した盲目の鍼医、杉山和一総検校。江の島で断食しながら鍼の上達を祈願した際に石につまずいた杉山は、その時手に触れた松葉から管鍼法を着想したそうです。江の島には杉山検校の墓があり、江島神社の敷地内には杉山検校の銅像も。杉山検校がつまずいたとされる石は「福石」と呼ばれ、ここでものを拾うと幸運が授かると言われています。

住所：藤沢市江の島2-2-13
☎0466-22-4020（江島神社）
［杉山検校］検索

三鱗の社紋　社紋は「三鱗」 北条家との関係　3

江島神社の社紋（一般の家庭で言う家紋）は、周囲を波に囲まれた「三鱗」。三鱗と言えば、鎌倉幕府の執権職を勤めた北条氏の家紋です。相原宮司に由来を尋ねてみました。

「北条時政が子孫繁栄を願って江の島に参籠したところ、夢の中に美しい女性（弁才天）が現れ、子孫繁栄を言い残すと、大きな龍神となって海に飛び込んだ。その時に龍神が落とした三つの鱗を拾った時政は、それを自分の旗に押しつけて北条の家紋としました。江島神社の社紋もこの伝説にちなんでいます」

江の島のまつり

祭り囃子が江の島っ子の子守唄 「江の島天王祭と江の島囃子」

江の島の人々にとって、最も盛大なお祭りは毎年7月の「江の島天王祭（八坂神社例祭）」。天王祭は、対岸腰越の小動神社との行合祭です。故事によると腰越の小動神社に祀られた祭神の、須佐之男命の木像が津波で流され、江の島の八坂神社の祭神として祀られました。その後、毎年、海を渡るのは、小動神社に里帰りするためや、女神歳徳神に会うためなどロマンある勇壮な祭です。（諸説あり）

海上渡御

お神輿の露払いとして欠かせないのが、島民による「江の島囃子」。江の島には7つのお囃子があり、それぞれの保存会が古くから伝わる曲を笛や三味線、太鼓などを奏でながらお神輿を先導します。宵宮には、店舗や住宅が立ち並ぶ細い道を、お揃いの浴衣で賑やかに練り歩き、江の島じゅうが心躍るお祭りの夜となります。

「囃子方は全部で150名程。10歳になると子ども囃子の練習を始め、その後、それぞれの保存会に分かれます。宵宮は深夜まで賑やかにお囃子が響きますが、江の島のお囃子は寝ている子を起こさない独特な音色といわれています」と囃子方連合会役員・池さん。

江戸時代から続く伝統ある天王祭ですが、昨年はコロナ禍で、お神輿とお囃子は中止となり神事のみに。今年は、お神輿に代わる唐櫃にご神体の御霊を入れ、感染対策を施し、人数も制限し、囃子方とともに、粛々と島内を巡りました。「御神体の須佐之男命は疫病退散の神。2年続けての中止はしのびない。子供たちに伝承してゆくためにも開催しましょうと神社さんが申し出てくれました。できてよかったです。囃子方も見る人も嬉しかったと思います。無事に終わって今、ほっとしています」と今年の祭典委員長・渡邊英雄さん。

※江の島天王祭は、「かながわの祭り50選」、藤沢市重要無形民俗文化財。「江の島囃子」は神奈川県重要無形民俗文化財認定。

2021年の様子

●江島神社　年間のお祭り（2021年 抜粋）

- 1/1　歳旦祭（新年を祝い無病息災を祈願）
- 2/2　節分祭（豆まきをして邪気を払う）
- 3月中旬　貝祭り（稚児行列と稚貝の放生）
- 4/3　初巳例大祭（祝詞、神楽舞を奏上する重要な祭祀）
- 6/30　水無月大祓式（茅の輪をくぐって穢れを払う）
- 9/9　龍宮例祭（伝説の龍神を祀る龍宮の例祭）
- 10/6　古式初亥祭（1450年前から続く重要な例祭）
- 11/15　七五三祈願祭（子どもの成長を祈願）
- 12/31　師走大祓式（茅の輪をくぐって一年の穢れを払う）
- 12/31　除夜祭（一年の無病息災に感謝する）

祭典委員長 渡邊英雄さん

囃子方連合会役員 池志津子さん

ふじさわびと告知板

WEBふじさわびと

「日本地域情報コンテンツ大賞2021」 「藤沢の名を全国に知らせたい！」

応援してね！　読者WEB投票 9月25日（土）〜10月25日（月）

日本地域情報コンテンツ大賞 2021

今年も、コロナに負けずに、『日本地域情報コンテンツ大賞（旧日本タウン誌フリーペーパー大賞）』（（一社）日本地域情報新興協会）にエントリーします！！応援よろしくお願い申し上げます。

2017年　No.10　読者投票部門全国1位　ライフスタイル部門優秀賞
2019年　No.17　ライフスタイル部門優秀賞
2018年　No.13　読者投票部門全国3位
2020年　No.18　ライフスタイル部門優秀賞

WEBふじさわびと 新シリーズ 「ふじさわ魅力女（みりょくびと）」

わくわくすると猪突猛進！　星谷 けい子さん
肝っ玉母さん！ 江の島で羽ばたく　浅井 加奈さん

募集 コロナ応援！掲載 無料！

持って帰ろうテイクアウトサイト
「モッテカ湘南」掲載店募集中
まずは、気軽にメールください。
fujisawabito@gmail.com

募集 チラシ掲載 無料！

掲載したい方ご連絡を！
まずは、気楽に、メールください。
fujisawabito@gmail.com

募集 ふじさわびと仲間募集

元気、好奇心旺盛、SNSできる、藤沢好きの人。一緒に「ふじさわびと」、「WEBふじさわびと」を作りませんかご連絡お待ちしてます。
まずは、気楽に、メールください。
fujisawabito@gmail.com

ふじさわびとサポーターの皆様（元気インフォメーション掲載の皆様）

紙媒体「ふじさわびと」と「WEBふじさわびと」の両輪で発信します！

いつも応援ありがとうございます。世界は、昨年からコロナ禍に陥り、未だ不安な日々が続いています。「ふじさわびと」も、長引くコロナ禍で発行も危ぶまれましたが、皆様のご支援で、なんとか無事、発行に漕ぎ着けました。本当にありがとうございました。

紙媒体の「ふじさわびと」は、こんな時こそ、随時、情報を流したいと、2月1日から、湘南・藤沢・江の島ポータルサイト「WEBふじさわびと」の運営を開始しました。只今、絶賛、育成中です。お陰さまで「湘南情報」、「藤沢情報」で、検索していただくと一番先に出てくるようになりました。

ふじさわびと　編集部
fujisawabito@gmail.com ［WEBふじさわびと］検索

「ふじさわびと」ならこれだけは知っておきたい 江の島TOPIX②

都市景観条例と江の島

湯浅裕一さん

藤沢市は平成元年に「藤沢市都市景観条例」を指定し、個性豊かな藤沢らしい景観づくりを進めています。

江の島は景観法上で最も規制の強い「景観地区（特別景観形成地区）」に該当し、建築物又は工作物の新築、増築、改築、移転、外観の変更を伴う修繕・模様替え、色彩の変更、500平米以上の開発行為を行うには、市長の認定または許可が必要となります。

湯浅裕一・江の島特別景観形成協議会会長は、「仲見世通りの道幅などを直した時に、この協議会が出来ました。藤沢市の『江の島特別景観形成地区・景観形成基準』に従って、まちづくりに規制がかけられることになったのです。特に色の使用制限は大事ですね。おかげで、江の島らしい町並みが醸し出されています。島の人たちはみんな賛成でした。だから、新しく島に出来るお店さんにも、基準を守ってもらっています」

お問合せ 藤沢市計画建築部　街なみ景観課
藤沢市朝日町1-1　分庁舎3階
☎0466-50-3508 ［藤沢市　景観条例］検索

江の島サムエル・コッキング苑　5

明治時代の植物園 新たなシンボルに

明治時代に英国人貿易商のサムエル・コッキング氏が造った和洋折衷の植物園をリニューアルした植物園です。江の島に邸宅を構えたコッキング氏は、大庭園に植物園を作り、レンガ造りの温室で南国の植物を育てました。苑内は南国の植物や四季折々の草花が楽しめるほか、コッキング氏が造った温室の基礎部分やボイラー室などの遺構も残っています。苑内にある展望灯台「江の島シーキャンドル」は、言わずと知れた江の島のシンボルです。

住所：藤沢市江の島2-3-28
☎0466-23-2444
［江の島サムエル・コッキング苑］検索

聖天島公園　11

もともと江の島とは別の島だった聖天島。前回東京五輪の際に埋め立てられ、島の上部が陸地に取り残されて丘のようになりました。

住所：藤沢市江の島1-6-21
［聖天島］検索

トンボロ

「トンボロ」（Tombolo）」とはイタリア語で、本土と陸繋島を繋ぐ陸繋砂州（りくけいさす）のことを指します。

江の島が陸続きになるのは、新月や満月の前後の「大潮」の干潮時のみ。この時、およそ1時間の間は、江の島のトンボロを歩くこと出来ます。

アクセス　片瀬海岸東浜
藤沢市片瀬海岸1-15
［トンボロ　江の島］検索

エドワード・S・モース記念碑 モース臨海実験所推定跡地　9 10

海洋生物の調査発祥の地は江の島

アメリカの動物学者で、大森貝塚の発見者としても知られるエドワード・S・モース博士は、明治10年（1877年）に江の島の海辺の小屋を借り、シャミセンガイをはじめ相模湾の多くの海洋生物を採集して研究しました。東洋初の臨海実験所でした。旅館恵比壽屋に臨海実験所跡推定地の石碑が、島の入り口の北緑地広場には、モース博士の功績を記念する碑が建っています。またモース博士は日本の生活文化への関心も深く、江の島での研究活動のようすや島の風景をスケッチに残しています。

記念碑 住所：藤沢市江の島1-1
実験所推定跡地 住所：藤沢市江の島1-4-19
［モース　江の島］検索

江の島定番！土産

もらって嬉しいお土産！数ある中から、江の島土産をほんの少しご紹介!!

■女夫饅頭

仲見世通り右手側、創業1789年の和菓子屋さん。自家製手練り餡は上品で優しい味。弁天様の島だから女夫（夫婦）饅頭。茶色が粒餡、白がこし餡。アツアツの蒸し上がりや店先で焼く串団子も絶品。新製品は江島神社の三ツ鱗の焼印を押したどら焼き。包装紙も素敵！

［紀の国屋本店］検索
紀の国屋本店　藤沢市江の島2-1-12　☎0466-22-5663

■自家製いかの塩辛

江の島参道入口の「丸だい仙水」は、左が磯料理店で右が海産物店。元々は網元、海鮮問屋を営んでいたので新鮮な海産物が揃います。なかでも、保存料や添加物を一切使わず新鮮ないかのわたと塩だけで造られている自家製のいかの塩辛が人気！お酒に、白い御飯に最高！

［丸だい仙水］検索
丸だい仙水　藤沢市江の島2-1-7　☎0466-26-4701

■元祖海苔羊羹

岩屋洞窟に向かう名勝「山二ツ」にある中村屋羊羹店。海苔羊羹は、明治35年に考案され第22回全国菓子博覧会で名誉総裁賞を受賞。上質ないんげん豆の羊羹に練り込まれた青海苔が磯の香りをもたらす上品な味わい。新製品、江島神社のお清めの御塩を使った弁天塩羊羹も人気。

［中村屋羊羹店］検索
中村屋羊羹店　藤沢市江の島2-5-25　☎0466-22-4214

■丸焼きたこせんべい

江の島仲見世通り左手側にあるあさひ本店。大きなおせんべいを食べ歩く姿をTVで見た人も多いかも。店舗前には、いつも長蛇の列ができています。新鮮な小ぶりのたこを2〜3匹をまるごとプシューとプレスし、パリパリに焼き上げます。持ち帰り用もあります。

［あさひ本店］検索
あさひ本店　藤沢市江の島1-4-10　☎0466-23-1775

取材協力：江島神社　江の島・藤沢ガイドクラブ　堀浩侃さん　写真提供：（公社）藤沢市観光協会　電子博物館みゆネットふじさわ

参考文献：「江島詣ー弁財天信仰のかたち」（鈴木良明、有隣新書）　藤沢市史ブックレット10「江の島、神の島から人の島へ」（伊藤一美、藤沢市文書館）
「江島辨財天信仰史」（是澤恭三、江島神社社務所）